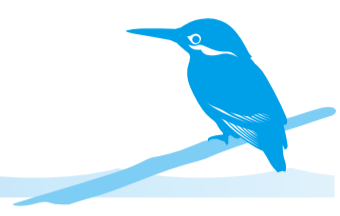


特集
 市長座談会「市立病院 信頼され選ばれる地域中核病院へ」……1・2

お知らせ
 日野市食育推進計画（素案）……2
 についてご意見を
 市民農園・高齢者農園 ……5
 農園使用者を募集

特集
 ミニバス7路線を紹介 ……8



市立病院 信頼され選ばれる 地域中核病院へ

市立病院が新しく建て替えられて今年で6年、昨年7月に熊井新病院長が就任し、約半年がたちました。今号では、市医師会会長・牛尾正孝氏をお迎えし、市長及び熊井市立病院長と、日野市を取り巻く地域医療や救急医療について、また目まぐるしく変わる医療制度についてお話をいただきました。（市長公室広報担当）



▲写真左から熊井市立病院長、牛尾市医師会長、市長

市立病院の機能発揮のためかかりつけ医からの紹介受診を

市長 医療制度が変わる中、自治体病院は苦しい経営を迫られています。また、総務省が公立病院の改革懇談会を立ち上げ、指針が示されました。そこで、自治体病院とはいえ、あまり赤字が多い場合はより厳しい指導をされるとされています。市立病院長に熊井先生が就任されたのを機に、市も一丸となって病院を支えますが、市民の皆様にお届けしたいことをこの広報を通じお知らせするために、今回の座談会の運びになりました。市医師会長・牛尾先生、熊井院長よろしくお願います。熊井 就任から約半年が過ぎ、病院の様子、患者様の状

態が把握出来てきました。全国的に医師・看護師不足の問題がありますが、当市立病院も状況は同じです。現在、市立病院は毎日800〜900人の外来の患者様が来院しています。医師・看護師不足の現状では、外来患者様の診療で病院のパワーはかなり消耗してしまっています。つまり、市立病院は高度で専門的な医療を提供する中核病院として位置付けられていますが、その機能が十分に発揮出来ていないのが現状です。私はこの問題の解消のため、第一に医師不足、特に内科医の補充を重点に置いています。昨年中に、消化器内科医を迎えることができましたし、今春には複数の医師の増員を実現し、病院の体力を強化したいと考えています。

●(社)日野市医師会長
牛尾正孝(うしお まさたか)
 昭和21年生まれ。昭和46年東京医科大学医学部を卒業。昭和50年東京医科大学小児科助手、東京医科大学小児科講師を経て、平成元年から平山6丁目牛尾医院を開業。平成17年から(社)日野市医師会会長に就任。専門は、小児科学(ウイルス感染症)。



第二に、地域の医院・診療所との連携を強化し、かかりつけ医からの紹介で診療を受けていただく紹介受診のシステムを定着させたいと思っています。一方、市立病院で症状が安定された方には、逆紹介という形で地域の医院・診療所に戻り診療を受けていただくことで、ぜひ、市民の皆様には病院の機能を使い分けて受診していただきたいと思っています。

市立病院とかがりつけ医の連携強化で、医師不足の力バール
牛尾 入院や精密検査が必要な患者様が私ども開業医を受診された場合、紹介病院が少ないというのは大変深刻な問題であり、中核病院の機能を持つている市立病院には、入院を要する重篤なケースについて、患者様の迅速な受け入れをしていただきたいと思っています。市立病院に医師の人員や医療スタッフが足りないことは私も重大な問題だと思っています。大腸がん、前立腺がん、肺がん、C型肝炎等が増加していますので、その診断治療を行う医師の確保は重要と考

●市立病院長
熊井浩一郎(くまい こういちろう)
 昭和17年生まれ。昭和42年慶應義塾大学医学部卒業。平成13年慶應義塾大学病院内視鏡センター長、慶應大学医学部教授を経て、平成19年7月から日野市立病院長を務める。専門は、消化器外科学、消化器内視鏡学。



さらに、外来患者様が多いために救急や時間外の急患を診てもらいにくい現状があります。特に内科の先生は、人数が少なく入院患者様を診察する十分な余裕がないと思います。医師会では、市立病院の外来患者数を減らすために市立病院と医院・診療所のかかりつけ医の連携強化が重要だと考えています。そのためには、市立病院の地域医療連携の役割が大変重要です。また、医師会では平日深夜こども応急診療所を開設しておりますが、重症児が受診された場合、近隣に入院させていただける病院が少ない事が問題となっています。夜間の診療は市立病院単独では無理だと思います。他市の病院と連携し、交代で当番病院を確保

すべき時期が来ていると思います。熊井 そうですね。小児科、産婦人科の医師不足は、もう一病院で解決出来ないところに来ています。これらの診療科目には女性医師が多いのですが、子育て中で休職をしている女性医師に日中の外来や夜間の電話相談をお願いし、常勤医師には入院患者様の対応が出来ればと考えています。

市立病院の経営安定のため、入院患者様の紹介率を高める
市長 市立病院の機能を発揮するためには、緊急な場合を除き、かかりつけ医から市立病院を紹介いただいで来院していただく必要があります。そのルートや役割分担を確立しなくてはいけないと思います。市からもそのあたりを市民の皆様にお届けしたいと思っています。熊井 私たちも、中核病院の機能を発揮するためには、入院患者様の治療にパワーを向けたらと思っています。そのためには、現在外来患者様の紹介率が3割弱ですが、目標では、この数値を5割に上げたいと思っています。次頁へ

日野市立病院 プロフィール


診療科 (16科) 内科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、精神神経科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科

平成17年1月(財)日本医療機能評価機構から認定病院として認定

病床数 300床

医師及び看護職員数
※数字は2月1日現在の実働数
医師40人(計画定数は52人)
看護職員166人(計画定数は193人)

所在地 多摩平4-3-1



それには、市立病院に直接外来にいらつしやる患者様にはご迷惑をおかけすることになると思いますが、ご理解いただきたく思っています。

牛尾 私も医師会も少なくとも市立病院の紹介率は30%以上になるべきだと思っています。

市内の医療機関からの紹介患者様を市立病院で検査し、その結果を知らせてもらうシステムをもっと活用する必要があります。特にCTやMRIなどの検査は市内の開業医にそのシステムを活用してもらえば、紹介率ももっと上がると考えます。

市長 市立病院は町立病院からの古い伝統があり、来院された患者様すべてを診なくてははいけないという考えが病院側にも、市民の皆様にもあるように思います。そのあたりの考え方を改めていただかなくてはと思いません。

牛尾 医療制度が変わり、外来患者様の診療に力をつけていると病院の収益がどんどん下がります。

市立病院は町立病院から9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性

救急施設としての市立病院、これも大きな役割

市長 私が市長に就任した平成9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性

救急施設としての市立病院、これも大きな役割

市長 私が市長に就任した平成9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性

日野市食育推進計画(素案)

具体的な施策の展開

- 家庭における食育の展開
重点推進事業Ⅰ 食育は家庭から・朝ごはんは元気の源
①「(仮称)TVを見ないで朝ごはん・夕ごはん」の推進②保育園、幼稚園を通じた食育推進③保育園、幼稚園へ就園前の子どもたちへの食育推進④妊産婦に対する食育
- 学校、児童館、保育所等における食育の展開
重点推進事業Ⅱ 安全安心でおいしい学校給食の推進
①「(仮称)ひの野菜給食月間の制定」②学校給食日野産野菜の利用促進③学校、児童館、保育所等における食育の均質化と質の向上④食の重要性を体験から学ぶ
- 地域における食育の展開
重点推進事業Ⅲ 地域で進めるみんなの食育
①食から始まるおいしい健康づくり②若年期、若年期のメタボリックシンドロームを減らす③高齢者の食生活と健康づくりの支援④食育推進優良店舗の創出⑤地域の力を集める
- その他の推進事業
①Let's食育 Let's情報発信②日野農業応援チーム「日野グリーンサポーターズ」との連携③食による国際交流の推進④安全・安心な食

3つの重点推進事業と5つの数値目標

- 家庭における食育の推進
重点推進事業Ⅰ 食育は家庭から・朝ごはんは元気の源
朝食を欠食することがある人の割合
数値目標1.
保育園児、幼稚園児の保護者
18.6%→5年後(半減)
数値目標2.
園児(1.7%)、児童(3.8%)、生徒(9.7%)→5年後(0.0%)
- 学校、保育所等における食育の推進
重点推進事業Ⅱ 安全安心でおいしい学校給食の推進
数値目標3.
学校給食での地元野菜利用率
日野市産限定
(平成17年度) (平成19年度) (平成21年度) (平成23年度)
11.3% →15.0% →20.0% →25.0%
- 地域における食育の推進
重点推進事業Ⅲ 地域で進めるみんなの食育
数値目標4.
食育推進を実施する店舗の数
21.4%→5年後(40.0%)
数値目標5.
内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)を知っている市民の割合
54.0%→5年後(100%)

交通安全に心がけましょう。

ていつてしまう現状がある。そのシステムをまだ、市民の皆様が理解していただけない現実があります。

市立病院のような病院は、入院患者様を中心に診療を行わないと病院の経営がうまくいかない現状があります。どんどん赤字が累積していくと市立病院がつぶれてしまいます。これを防がなくてははいけないと思います。

救急施設としての市立病院、これも大きな役割

市長 私が市長に就任した平成9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性

救急施設としての市立病院、これも大きな役割

市長 私が市長に就任した平成9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性

救急施設としての市立病院、これも大きな役割

市長 私が市長に就任した平成9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性

救急施設としての市立病院、これも大きな役割

市長 私が市長に就任した平成9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性

救急施設としての市立病院、これも大きな役割

市長 私が市長に就任した平成9年、市立病院を建て替えなければいけないという議論と、病院建設は難しいという議論があり決断には大変苦慮しました。そのとき、なぜ日野市が市立病院を持つのかという一番のポイント、「大災害の際に日野市民を守る拠点として市立病院が必要だ」ということでした。原点はそこにあるということとを皆様に分かっていたいただきたいと思っています。これは経営を超えた重要な視点だと思っています。

熊井 救急施設としての市立病院、これも大きな役割だと思っています。赴任して、医療安全対策を充実させるため医療安全管理室を設けました。現在、感染症対策、リスクマネジメント対策を整えている段階です。また災害医療対策訓練も院内で行っており、万一の災害に備えています。

感染症の対策ですが、新型インフルエンザが近い将来問題となる危険性